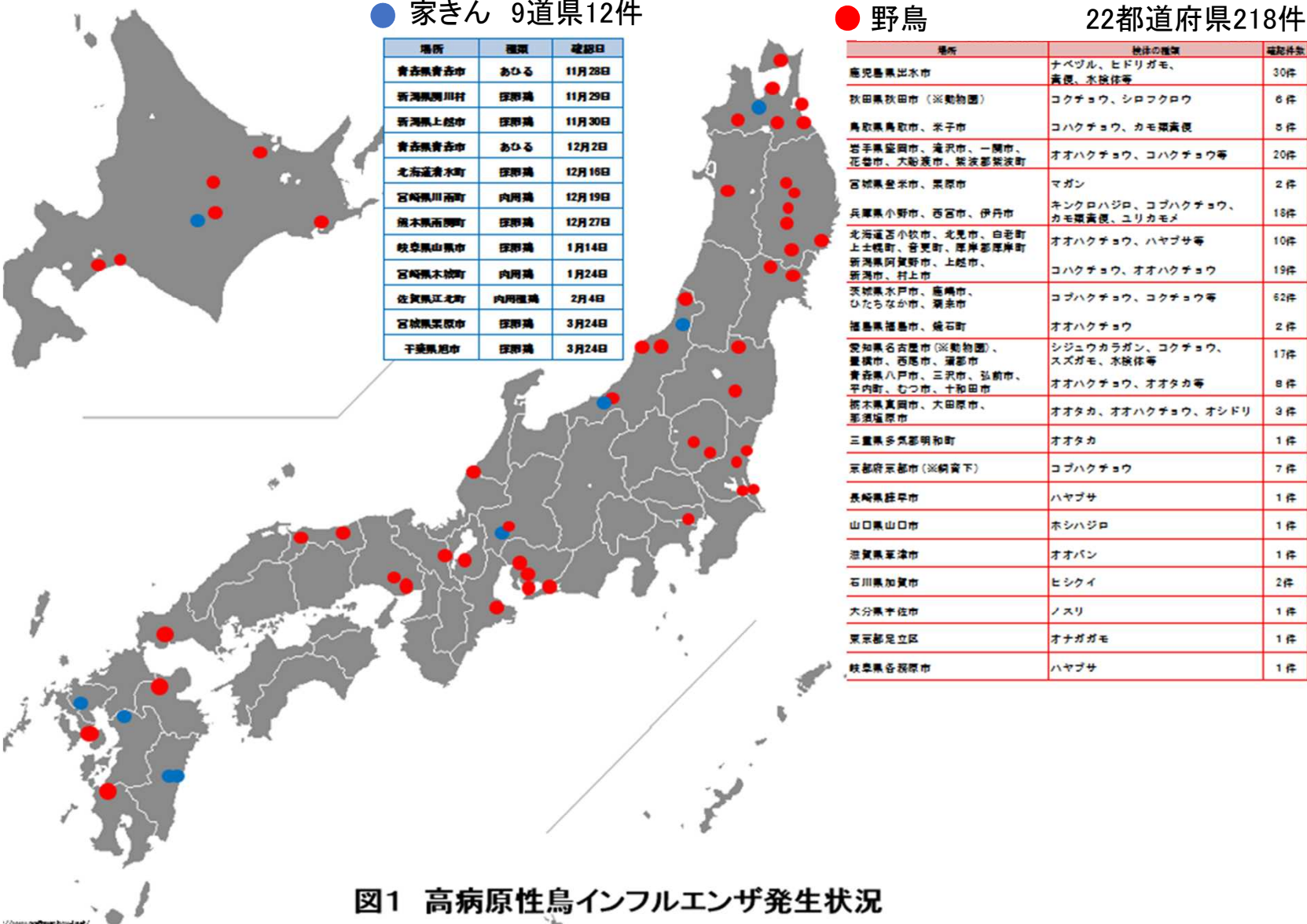


H28-29シーズンにおける国内の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

資料 1



国内の動物園等における 高病原性鳥インフルエンザ発生事例



●平成22年度（2010年度） ※施設管理者
富山県高岡市高岡古城公園動物園 ※高岡市
山口県宇部市常磐公園 ※宇部市
兵庫県加東市状ヶ池公園 ※加東市

ウイルスの型：H5N1亜型
確定検査陽性の種：コブハクチョウ、コク
チョウ
対応：飼養していたハクチョウ類、カモ類400
羽以上を殺処分

●平成28年度（2016年度）
秋田県秋田市大森山動物園 ※秋田市
愛知県名古屋市東山動物園 ※名古屋市
京都府京都市京都競馬場 ※ JRA
兵庫県伊丹市昆陽池公園 ※伊丹市

ウイルスの型：H5N6亜型
確定検査陽性の種：コクチョウ、シロフクロ
ウ、シジュウカラガン、マガモ等
対応：飼養していたハクチョウ類、カモ類50
羽以上を殺処分

高病原性鳥インフルエンザへの対応経過

動物園等における飼養鳥

○平成22年度 動物園等で高病原性鳥インフルエンザ発生（国内初）



○平成23年「動物園等における飼養鳥に関する高病原性鳥インフルエンザ対応指針について」により通知

○平成28年度 動物園等で高病原性鳥インフルエンザ発生



○平成29年1、6月 有識者、動物園関係者へのヒアリング会議開催

→対応指針の改訂の必要性が指摘



「動物園等における飼養鳥に関する高病原性鳥インフルエンザ対応指針」を改訂

野鳥

○平成27年度 「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」改訂

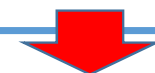
○平成28年度 野鳥で高病原性鳥インフルエンザ発生



○平成29年5、8月 鳥インフルエンザ等野鳥対策に係る専門家グループ会合開催



○平成29年9月 「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」改訂



「動物園等における飼養鳥に関する高病原性鳥インフルエンザ対応指針」を改訂

対応指針改訂作業スケジュール（案）

○9月26日　＜第1回検討会＞

- ・ これまでの対応経過について報告
- ・ 改訂事項及び改訂素案に関する議論
- ・ 事例報告等（国内ケーススタディ調査、海外事例）

○10月中

- ・ 第1回検討会の議論等を受けて修正した改訂案について、
地方自治体・地方環境事務所に意見照会

○10月30日　＜第2回検討会＞

- ・ 意見照会を受けて修正した最終改訂案についての確認・議論。
- ・ 改訂内容の確定

○11月中

- ・ 公表